

授業科目		科目概要・形式	配当年次	オンライン参加
地域保健協働実践演習		1 単位 30 時間(15 コマ) 演習科目	博士前期 1 年次 後期開講	可・不可 (一部不可)
科目責任者	古川 照美			
担 当 者	古川 照美、清水 亮、瀧澤 透、新岡 大和、日景 静香（非常勤）			
1. 科目のねらい・目標				
特定地域における地域保健福祉に関する健康課題・生活課題を、他職種とともにエスノグラフィー等を用いて明らかにし、住民との協働活動も視野に入れた、地域における包括的な課題解決を探究する方法を実践的に学ぶ。				
2. 授業計画・内容				
エスノグラフィーと IPE、IPW、地域住民との協働活動について解説し、実践的なエスノグラフィーにより理解を深める。 ①日本における「地域」の課題と IPE、IPW（2 コマ）（瀧澤、清水、新岡） ②地域の健康課題のとらえ方（エスノグラフィーについて）（1 コマ）（古川、日景） ③特定地域における実践的なエスノグラフィー（全員） 事前に参与観察の依頼、インタビューガイドの作成、関連資料の検討等 実践的なエスノグラフィー（2 日間）（6 コマ） ④特定地域の健康課題・生活課題の明確化と構造的理解(2 コマ)（全員） ⑤包括的な課題解決の考察(2 コマ)（全員） ⑥まとめ（地域のとらえ方・考え方）（2 コマ）（全員）				
3. 教科書、参考書				
参考書：金川克子 編田高 悦子 編：「地域看護診断 第 2 版」、東京大学出版会、 2011 年、ISBN978 4 13 062408				
4. 成績評価方法				
レポート・まとめ 60%、参加状況 40%(実践的なエスノグラフィーを行うことを含む)				
5. 受講要件				
前提として IPE、IPW に関する科目のため 3 人以上の履修者があって、開講されます。				
6. 社会人学生に対する配慮				
夜間及び土日開講としますが、フィールドとなる地域の状況によっては、平日の時間帯になる場合もあります。				
7. その他				
日程は、履修者決定後に調整します。実践的なエスノグラフィーについて、地域の状況によりオンライン参加ができない場合があります。演習科目のためオンデマンドはありません。				